

職業リハビリテーション (認知行動論的アプローチを含む) の観点からみる特別支援教育

前原和明 (秋田大学大学院)

maebara-kazuaki@ed.akita-u.ac.jp

日本認知・行動療法学会
利益相反 (COI) 開示
筆頭発表者名: 前原 和明

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業
などはありません。

自己紹介①

- ・現所属(2019年度～)

秋田大学大学院 教育学研究科

教職実践専攻(特別支援教育)

教授 前原和明

- ・職歴(～2018年度)

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

地域障害者職業センター

／障害者職業総合センター研究部門

自己紹介②

- ・専門分野

特別支援教育、職業リハビリテーション

- ・現在の実践…

附属特別支援学校 校長（2023年度～）

秋田県内の特別支援学校の研究授業での助言等

自己紹介③

・ 2023年4月～

秋田大学附属特別支援学校 校長



附属特別支援学校①

附属特別支援学校

- 知的障害を対象とした学校

- 小学部 16名
- 中学部 20名
- 高等部 25名
- 合計 61名



附属特別支援学校②

- 教育研究
 - 私の応援計画（個別の支援計画）
 - Dスタディ（探求的学習）
 - 生涯学習力（研究テーマ）



附属特別支援学校②

- 教育研究
 - 私の応援計画
 - Dスタディ
 - 生涯学習力
- 附特竿燈（ふとくかんとう）



附属特別支援学校③

- ・作業学習

- ハンドクラフト班

- 陶芸班

- サービス班



職業リハビリテーション①

障害者に対して職業指導、職業訓練、職業紹介その他この法律に定める措置を講じ、その職業生活における自立を図ること

『障害者の雇用の促進等に関する法律』

職業リハビリテーション②

障害をもっているが故に職業に就くことが困難になっていたり、維持していくことが難しくなっている人にも、職業を通じた社会参加と自己実現、経済的自立の機会を作り出していく取り組み

『日本職業リハビリテーション学会』

職業リハビリテーション③

「障害者の雇用の促進等に関する法律」

(1) 障害者雇用率制度

(2) 障害者雇用納付金制度

(3) 職業リハビリテーションの実施

障害者職業カウンセラー①

- ・職務内容

職業評価・職業指導、職業準備支援

ジョブコーチ支援

復職支援

事業主支援

関係機関支援

障害者職業カウンセラー①

・職務内容

職業評価・職業指導、職業準備支援

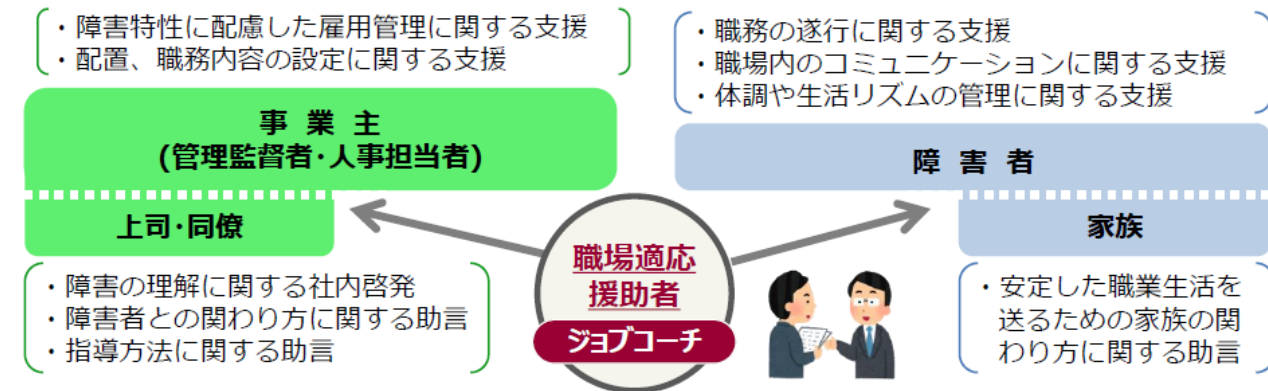
ジョブコーチ支援

復職支援

事業主支援

関係機関支援

● ジョブコーチ「支援のしくみ」と「標準的な支援の流れ」



支援期間 1～8 か月 (標準 2～4 か月)

集中支援／週 3～4 日訪問

職場適応上の課題を分析し、
集中的に改善を図る

移行支援／週 1～2 日訪問

支援ノウハウの伝授やキーパーソンの育成
により、支援の主体を徐々に職場に移行

フォローアップ

数週間～数か月
に一度訪問

※「雇用前から」「雇用と同時に」「雇用後に」と、必要なタイミングで開始できます。

障害者職業カウンセラー②

- 研修

障害者職業カウンセラー補としてスタート

1/3/5/9年の研修体系

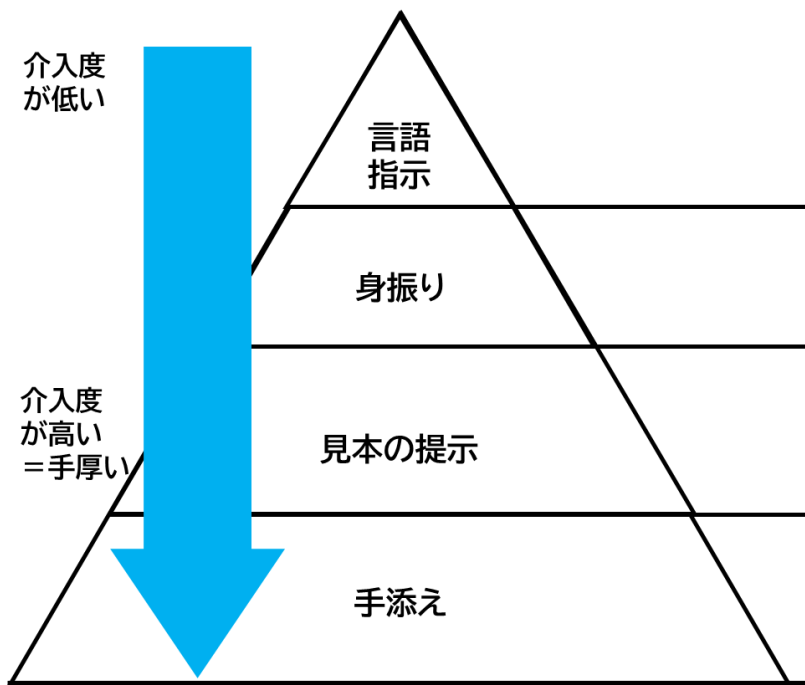
- 科目の例…

- 職業リハの方法「職業評価」「法制度」など

- 特別支援教育、労働法など

- リハビリテーションカウンセリング、キャリア発達など

- 応用行動分析、職務分析、課題分析など



課題：皿の洗浄

日付		6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	
事項							
1	スポンジを持つ	V	+	+	+	+	+ 15
2	スポンジに洗剤をつける	M	V	V	+	+	
3	タライから皿を取る	+	+	+	+	+	
4	皿の表面をスポンジで5周洗う	P	P	G	G	V	10
5	皿の裏面をスポンジで5周洗う	P	P	V	V	V	
6	スポンジを置く	V	V	+	+	+	
7	蛇口から水を出す	V	V	V	+	+	5
8	皿の表面についた泡を水で流す	P	V	V	+	+	
9	皿の裏面についた泡を水で流す	P	V	V	+	+	
10	皿を置く	V	+	+	+	+	5
11							
12							
13							
14							
15							

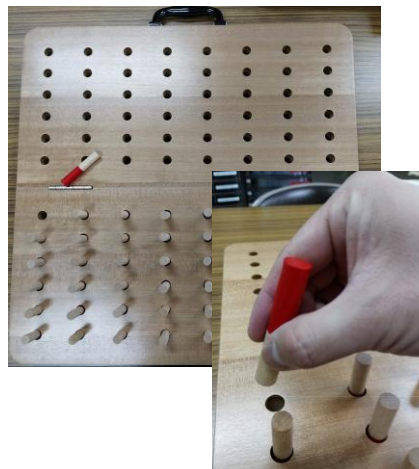
指示なし：+ 言語指示：V 身振り：G 見本の提示：M 手添え：P

図 支援における活用例

障害者職業カウンセラー③

勤務する中で指導されたこと…(1)

- ・ 職業評価における利用者のアセスメント



作業的側面

- ・作業検査
- ・ワークサンプル
- ・観察評価

社会的側面

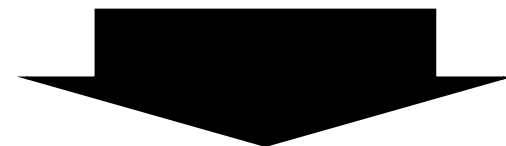
- ・知能検査
- ・性格検査
- ・聞き取り

精神的側面

- ・知能検査
- ・性格検査
- ・聞き取り

身体的側面

- ・模倣動作
- ・重量物運搬
- ・運動面観察



職業リハビリテーション計画の策定



組立作業が
できない

アセスメントを用いた支援の検討

求められていることへの理解

例：作業指示の意味が分からない

支援

手順書、
わかりやすい指示など

スキルの有無

例：道具が使えない

支援

道具の持ち方の指導
作業動作の訓練など

行動に対する意欲など

例：作業に対する意欲がわからない

支援

褒める、報酬を得る
達成量の視覚化など



障害者職業カウンセラー③

勤務する中で指導されたこと…(1)

- ・ 職業評価における利用者のアセスメント
 - 「大変…」 「非常…」等の言葉だけでなく客観的に示す
 - 障害を知らない企業人に伝わる言葉を覚えること
 - 結果、計画書に言葉できちんと書くこと
 - 機能分析的な見方

障害者職業カウンセラー④

勤務する中で指導されたこと…(2)

- ・指導の観点
 - ベースラインと般化の視点
 - 環境による「障害」の顕在化
 - 言葉かけ（システムティックインストラクション）
 - 本人と企業との対話（カウンセリング）

認識している課題①

しばしば、職リハの支援者の間では…

- 学校時代に働く上で必要なスキルを身に付けて欲しい
- 移行支援計画が役に立たない
- 卒業だからと考えも無しに就職させている
- 本人の希望を聞いていない
- 生活面の課題はだれが対処するのか

認識している課題②

- 曖昧な言葉が多い
やる気がある、頑張り屋だから、など
- 先生主導
指示されて動く、自分の意見が無い
- 企業理解が最優先
本人が何ができて、何を助けてもらうのか不明

私の実践

- ・複眼的な視点として「職リハ」の考えを紹介、職リハの視点で教育を見直してもらう
 - 曖昧な言葉ではなくて、行動に着目してもらう
 - 「職業準備性」の概念スキルを紹介
 - 指示の出し方と補完手段の検討
 - 「般化」から合理的配慮に向けた自己紹介の言語化

最後に…

職リハでは…

- ・ 具体的な行動やスキル（「行動への着目」）
 - ・ 職場で求められること（「環境との相互作用」）
 - ・ 対話と自己理解（「カウンセリング的介入」）
- といったことを意識している（はず…）

このようなことが学校（教室）では広がりにくいこともある。

これらが具体的な教育活動として広がると良い。

ありがとうございました